

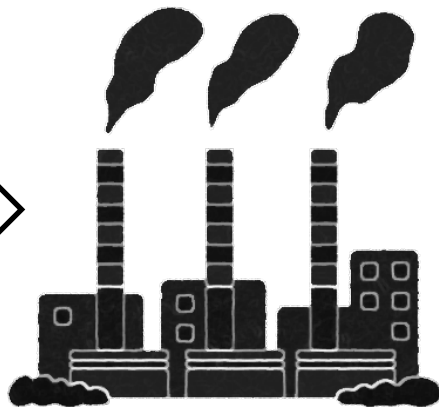
歓迎されない『支援』

日本はなぜ海外の石炭火力発電に資金を出すのか



2007～2015年
約4.6兆円※

※日本を含む先進7カ国の合計額



日時：6/17（金）18：30～20：45（予定）

場所：ウイングス京都2F セミナー室B（京都市中京区東洞院通六角下る）

参加費：500円（会場・資料代）

世界が気候変動の問題に一丸となって取り組んでいこうと、昨年12月に採択された『パリ協定』。日本も今年4月に署名をしています。

しかし、各国が気候変動対策として、温室効果ガスを大量に排出する石炭火力発電への支援を止めていこうと動くなか、日本はいまだに海外の石炭火力発電事業に世界最大の公的支援を行なっています。この『パリ協定』と逆行する日本の姿勢は、5月のG7伊勢志摩サミットにあたって、国際的な批判を受けました。

また、日本が石炭火力発電を支援しているインドネシア、インド、ベトナムなどの現地では、地元住民が農地や漁場を失ったり、健康被害が出るなどの問題も起きています。事業に反対の声をあげた住民が脅迫を受けるなど、人権侵害も深刻です。いま、現地の住民・NGOから「石炭支援にNO」というメッセージが日本に突きつけられています。

このセミナーでは、気候変動問題への世界の取り組みを振り返りながら、その流れに逆行する石炭火力発電への日本の海外支援策について解説します。また、実際にインドネシアなどの現場で起きている問題を動画・写真を交えて報告します。ぜひご参加ください。

【プログラム】

・報告 パリ協定採択から半年：世界で進む脱炭素化

伊与田昌慶（気候ネットワーク）

・報告 日本が進める石炭火力発電の海外支援と国際規制

田辺有輝（「環境・持続社会」研究センター（JACSES））

・現地報告：日本が支援するインドネシア石炭火力発電事業の問題

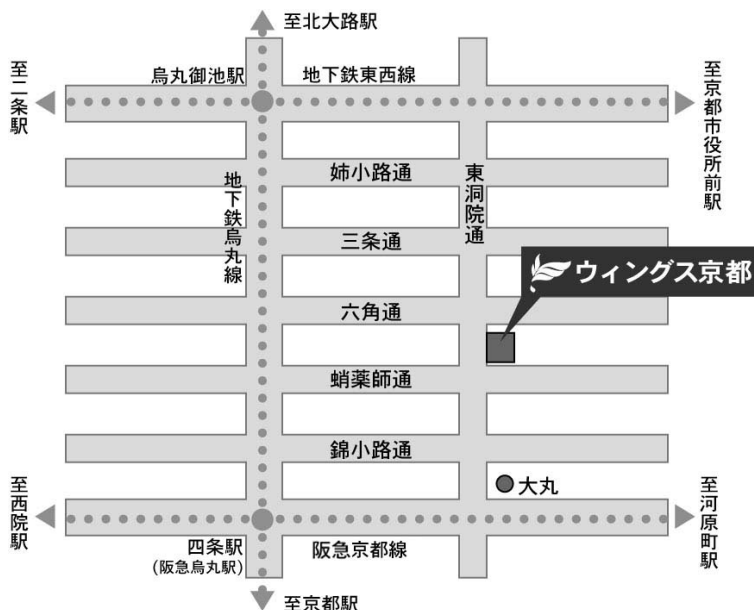
波多江秀枝（国際環境NGO FoE Japan）

・質疑応答

主催：NPO法人気候ネットワーク、国際環境NGO FoE Japan

協力：ODA改革ネットワーク関西、ヒューライツ大阪（一社 アジア・太平洋人権情報センター）
ウータン・森と生活を考える会

【会場アクセス】



交通アクセス

- 地下鉄烏丸御池駅(5番出口)
- 地下鉄四条駅
阪急烏丸駅(20番出口)下車5分

一般来館者用の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。

【お申し込み方法】

・次のWEBサイトからお申し込み下さい。
<<http://www.kiconet.org/event/2016-06-17>>

・または、件名:「6/17日本はなぜ海外の石炭火力発電に資金を出すのか」として、
気候ネットワーク京都事務所へお知らせ下さい。

1. お名前・ふりがな
2. ご連絡先(メールアドレスなど)
3. ご所属(任意)
4. ご質問・メッセージ(任意)



申込みフォーム
QRコード

問合せ・申込先 気候ネットワーク京都事務所
〒604-8124 京都市中京区帯屋町574番地 高倉ビル305
TEL:075-254-1011 FAX:075-254-1012 Mail:kyoto@kiconet.org

送信先:気候ネットワーク京都事務所(FAX:075-254-1012)

2016/06/17 「6/17日本はなぜ海外の石炭火力発電に資金を出すのか」申込用紙

ふりがな 氏名		電話番号	
メールアドレス	@		
所属(任意)			
ご質問等			

*ご記入いただいた個人情報は、主催団体による受付・参加者人数の把握、今後関連するイベント等のお知らせの送付のためにのみ使用いたします。